

西部地区労連ニュース



26春闘方針を提起する須部事務局長

物価高騰を乗り越える大幅賃上げ・底上げを！
26国民春闘学習会&旗開き
 西部地区労連は1月25日「26国民春闘学習会&旗開き」を開催し、36名が労働会館に集いました。

開催にあたり西部地区労働組合連合内議長は、冒頭、解散・総選挙について触れ、JMITU西部地区支部出身の村田さんが8区から出馬することを紹介しました。続いて「春闘が始まりました。講師の林さんから労基法解体の話が聞けま

す。この会場にトラックドライバの方が見えています。トラックドライバの働き方は、労基法の抜け穴

だらけで働かせ放題です。労働相談をする中で、休憩時間が取れない、給料が支払われない等の事案も出て

林克氏＊講演の要旨

26春闘と労働者の権利
 労基法解体の動き

とになる。

浜岡原発・リニア問題

安全保障情勢

「中国が戦艦を使って米艦に対する武力行使を伴うものであれば、これはどう考えても存立危機事態になりうる」という高市発言は、日本の武力行使を認め、憲法を蔑ろにする、つまり「戦争するぞ」と他国を脅かす戦争発言である。

防衛省は、富士山麓に、今年3月までに高速滑空弾を、27年度に12

式地对艦誘導弾能力向上型を、30年後に射程2000キロ以上の能力向上型を配備する、としている。敵基地攻撃どころか北京や上海も狙えるこ

1月、中電が基準地震動を不正に過小に改ざんしていたことが明らかにになり、規制委員会は再稼働審査を停止した。鈴木知事は「水の問題が決着、決定的に障害になるような課題は見当たらない」と述べたが、透水性、西俣断層の影響、生物多様性問題など課題は山積している。私たちは「スピード感よりも納得できる対話」を求めている。

労働時間規制緩和

高市労働法制改革の中心は、労働時間の規制緩和、残業時間規制の見直しにある。しかし「最も有効な措置は時間外単価

います。無法状態の会社も少なくありません。今こそ会社に労基法を遵守させましょう」と挨拶しました。春闘学習会では、前県評議長の林克氏による「26春闘と労働者の権利」労基法解体の動き」と題した講演がありました。その後、須部事務局長が春闘方針案を提案しました。



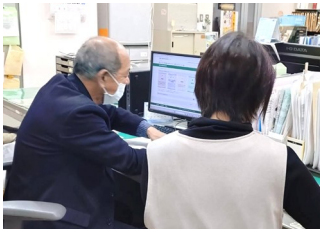
講演する林克氏

の引き上げ」（昆弘見氏）以外にはありえない。労基法は賃金割増率を「2割5分から5割の間で政令で定める」としているが、現行は時間外25%、休日35%。時間外労働が法律で制限されている欧米では、時間外50%、休日は100%が普通である。高市内閣は大企業・富裕層優遇の株高円安政策を推進している。労働者の生活を守り、経済を成長させる意味でも、国民春闘で大幅賃上げと全国一律最賃制度の確立を！

水源

俗説に「人が自分を見失うのは、お酒を飲んだ時、ハンドルを握った時、そして権力を手に入れた時」だそうです。▼「一杯は人酒を飲む、二杯は酒酒を飲む、三杯は酒人を飲む」といいます。左党には耳に痛いことばです。▼妨害運転罪が新設されたのが2020年6月。あおり運転とまでは言えなくても、後続車にびつたりくっ付かれてしばしば嫌な思いをします。車のほかにSNSにも同じ傾向があると思います。そこには誹謗中傷が溢れているからです。車やSNSは人のやさしさや共感能力を麻痺させる仕掛けでもあるようです。▼衆議院の解散は首相の専断事項だそうですが、自分だけに与えられた特権、その魔力に高市首相は抗えなかったのです。▼米国のSFテレビドラマの『新スタートレック』は24世紀末の宇宙が舞台ですが、そこでは、人類はアルコールとお金を克服しているという設定です。クレジットカードも持ちません。お金がなくてもしあわせに暮らせる社会が実現しているのです。翻って、21世紀の地球、日本はどうか。政治とカネの問題に明らか、未だにお金は権力の象徴です。先日のお金では、裏金候補の大半が当選しています。自分を見失っている人々の徒党が復活したのです。(M)

確定申告相談会



相談を受ける久米税理士

2月18日(水)浜松市職員組合事務所で、恒例の確定申告相談会が開催されました。参加者は8人でした。

相談者は、税金や保険料、医療費や扶養控除などの記入の仕方、パソコン入力の方法から印刷まで、税理士の先生に教えていただきました。

スズキ補助金裁判は、燃費不正、完成検査不正などで2019年6月7日、国土交通省から勧告を受け、過料(約2億円)の刑事罰を受けたスズキ自動車に対する補助金交付の是非を問うものでした。

浜松市は、企業立地補助金交付については規則で定め、要綱(コンプライアンス)も定めて企業誘致しています。

「市民の会」は20年9月24日、スズキに対し企業立地促進補助金を交付するのは、市が定めた要綱(コンプライアンス)に違反するとして、浜松市へ住民監査請求を起し、市監査委員会での棄却を受けて、静岡地裁に補助金返還請求住民訴訟を起しました。

スズキ補助金裁判は、昨年9月に結審し、今年1月29日に判決がありました。

判決は地方自治法の定める監査請求期限を過ぎた部分を却下し、その他をいづれも棄却する不当な内容でした。

2月6日の原告団総会で

は、判決内容を改めて確認し、高裁への控訴を出席者の総意で確認しました。

小笠原里夏弁護士は、判決の問題点を指摘しました。

①請求期間過ぎを理由とする却下は、住民自治制度の積極的意味を理解しないもの。

②「平成23年要綱が規則によつて設定された」と理解する余地はある」が内部基準として、市長の裁量を優先。原告が主張した外部法規―規則―要綱の一体性を不問にした。

③コンプライアンスは消極的要件とし、何のためにあるかを明言しない。(藤沢弁護士)

④18年9月26日国土交通省の不正の徹底調査指示以降、スズキは再発防止を徹底して補助対象者適格性を有すると推認(市の主張を丸のみ)。

参加者から感想が出され、嶋田代表は「控訴し高裁では非を問いたい」としました。

スズキ補助金裁判で不当判決 原告団総会で控訴さめる



第二部の旗開きでは

第二部の旗開きでは、県評の櫻井常任幹事、日本共産党西部地区委員会松下孝夫副委員長が来賓挨拶をしました。

各労組、団体から自己紹介や活動の状況、春闘の取り組みなどの報告があり、交流を深めました。料理は生協のオードブルの他に、仲間による差し入れのおでん、稲荷寿司、炊き込みご飯などがテーブルに並び、楽しいひと時を過ごしました。

最後に堀内議長「団結頑張ろう」で幕を閉じました。



市職員組合の参加者

脳トレ 漢字部首クイズ(三)

(例) にならって漢字の部首を答えてください。解答は次号で。

- | | | | | |
|---------------|---|-----|---|-------------|
| (例) 手・少・木・日・民 | + | (目) | ↓ | (看・省・相・冒・眠) |
| (1) し・皿・乃・禾・瓜 | + | () | ↓ | () |
| (2) 壬・辰・方・少・天 | + | () | ↓ | () |
| (3) 不・反・父・木・孕 | + | () | ↓ | () |
- *前号の解答
- | | | | | |
|---------------|---|-----|---|-------------|
| (1) 孕・且・占・胡・唐 | + | (米) | ↓ | (粹・粗・粘・糊・糖) |
| (2) 主・正・寺・皮・爰 | + | (イ) | ↓ | (往・征・待・彼・役) |
| (3) 女・寸・元・木・示 | + | (ハ) | ↓ | (安・守・完・宋・宗) |

日々の暮らしの

スパイス―川柳(二九)

高教組 今田久帆さん(浜松川柳社いしころ会)

言葉ひとつ心の闇に灯を点す

暗闇の中で悩み苦しんでいる時、ふとした言葉が心をざわめかせ、明日への光になってくれることがある。

拒否権が世界平和の夢碎く

国連の常任理事国が拒否権を行使するため国連は平和への取り組みさえ否決され、十分に役割を果たせないでいる。

大切なものを守る勇氣に絶えぬ傷

大切なものを守るためには時に身を挺さねばならないため、生傷の絶えることのない日々が続いている。

立ち向かう勇氣が変える場の空気

黙っていても物事は何も変わっていかないので、時には勇氣を出して思いを伝えていく必要が生まれてくる。

2026 トヨタ総行動



西部地区労連の参加者

2月11日、名古屋市の久屋大通公園・光の広場において、26国民春闘勝利決起集会が行われました。

集会ではトヨタやスズキをはじめ大企業がため込んでいる巨額の内部留保を、労働者と下

請け企業に還元し、大幅賃上げ実現を目指して300人の労働者が集結しました。

政府・大企業は「社会的な役割と責任を果たせ!」「すべての労働者・国民の生活改善を実感できるまともな賃上げを実現せよ!」と呼びかけ、時給1700円以上と10%以上の大幅賃上げの必要性を訴え、ストライキを構えて交渉を進めようと決意を固めました。

塩沢忠和弁護士を偲ぶ会



労災勝利判決を勝ち取る(2001年)

1月29日、浜松情報センターで塩沢弁護士を偲ぶ会が行われました。160名の参加者で会場が満席になりました。

大多和弁護士が弔辞を読み、渡邊弁護士ら5人の方から追悼の言葉が述べられました。小笠原弁護士から、塩沢弁護士の業績を写真や映像を交えての紹介がありました。

塩沢弁護士は、労働・人権問題の裁判で活躍され、市民運動を牽引されました。

中国大陸における概況



松谷准教授

高度経済成長期であった二〇〇〇年代は比較的緩やかだった政策が、習近平体制に移行した一二年以降、厳格な管理・統制政策へと方針転換された。例えば、一五年に国家安全法がで

き、三〇〇人以上の人権派

香港は一九九七年にイギリスから返還され「中華人民共和国・香港特別行政区」となり、香港人による香港統治が始まった。しかし二〇二〇年に香港

香港における概況

弁護士が一斉摘発された。一八年には、国家主席の任期が撤廃されている。

抗議行動では、中国共産党のゼロコロナ政策を批判する一連の「白紙運動」が有名。これは八九年の六四天安門事件以来最大の反政府デモである。

思想と信教の自由を守る西部集会

浜松市地域情報センターで第44回「2・11思想と信教の自由を守る静岡西部集会」が開かれました。以下は「変化を強要されない自由な社会を目指して―中国と香港の事例から考える」と題して行われた講演の要旨です。講師は金城学院大准教授で牧師の松谷暉介（ようすけ）氏です。

国家安全維持法が施行されて以降、民主派諸団体の解散、民主活動家の逮捕、大手メディアの廃刊、天安門

事件モニュメントの撤去など、当局による徹底した思想言論統制が続いている。

日本マイクロソフト・ストライキ支援

会社は世間並みのまともな給料を払え!

ビデオ撮影で組合牽制よりも誠実交渉をせよ!

1月23日、御前崎市門屋にあるローカルユニオン静岡・日本マイクロソフト工業分会は、賃上げを要求し4時間の時限ストライキを決定しました。

会社は組合要求の月額2万5千円に対して、財務諸表を組合に提示することなく、経営に影響が出るから5千円以上は出せないとの回答に固執しました。

これでは近年の物価高騰に対して実質賃金が下回る状況が続きます。現行の賃金は最低賃金ギリギリの金額であり、同業他社との差は開くばかりです。

会社の労働環境の現状を地域に訴えようと、県評や西部地区労連から応援に駆け付け、宣伝を行いました。

会社はこれに対抗して社用車で付きまとい、社長自らビデオ撮影で牽制してきました。我々もその証拠を押さえ、今後の団体交渉にて不誠実交渉と団体行動権妨害で責任を追及する方針です。



しんぶん
ちぎり絵

JMITU 静岡西部地区支部
片倉裕子さん

2コマ漫画

春闘早朝ビラ宣伝



堀内慶一(地区労連議長) 作

映画を観て

イジー・マードル 監督

「プラハの春」

不屈のラジオ報道

を観る

ベトナム反戦運動が盛り上がり、世界中で若者たちの理想とエネルギーが爆発した1968年、チェコスロバキアでも若者たちが民主化運動を起こした。

その機運は国中に広まり、検閲の廃止や言論の自由が認められ、ついに「プラハの春」が訪れたと思った矢先、ソ連がワルシャワ条約機構軍を率いてチェコに侵攻。軍は

ラジオ局を制圧し「チェコ国民を救出に来た」と虚偽の放送を流そうとする。

しかし、ラジオ局の報道員たちは、権力と戦軍に立ち向かい、回線技術を駆使して、ラジオ局の外から真実の報道を続け、市民を励まし続けた。こうした感動の実話を描いた緊張感に満ちた素晴らしい映画だ。

主人公のトマーシュ



シュは、本意ではなかったが、国際報道部の技術者として働かざるをえなくなる。仕事を共にする中で国際報道部長のヴァイナーの「真実を報道する」姿

る。しかし、親代わりに育てる大事な弟の命の保証はないと脅され、協力するとサインする。弟は熱心に学生運動に

連載 組合員の紹介 この人

遠州連帯ユニオン生駒孝子さん

私は大型トラック運転手です。夜勤もあります。会社に入ってから今年で32年になります。春闘学習会、林克さんのご講義はわかりやすく整理され、ミサイル配備、リニア、中電のデータ捏造など、他者に伝える大きな力になりました。中でも労働時間規制緩和は対案を

示され、春闘交渉準備の参考になりました。長時間労働が常態化してきたトラック運転手としては、「規制緩和が労働者の手取りを増やすとは限らない」ことも、大きく問題提起をしてくださいます。使用者は「残業代込みで何とか生活できる給与」があればいいではないかと、基本給そのものを低く抑えることがあるからです。旗開きは知識と経験、若さと活気が交錯する熱気ある会



場で、美味しい手作りの料理とお酒をいただき、今年の活動の栄養を蓄えることができました。感謝してガンバります。

に感銘を受ける。

ある時、元の職場の上司に呼び出され、記者たちを密告するように言われるが、断

参加し、当局に目をつけられていた。

1968年3月、ヴァイナーとトマーシュは、大統領の裏金の証拠テープを取ることに成功し、公表前に大統領に届ける。大統領は辞任し、新大統領の下、検閲が廃止されることになった。町中が喜びにあふれ、「人間の顔をした社会主義」と呼ばれる「プラハの春」が訪れた。

8月20日、トマーシュは、通信局に呼び出され、ソ連とワルシャワ条約機構軍が国境を超えると聞かされ、この侵攻は「指導部の要請により行われる」とラジオで放送するように命じら

れるが、「事実とは異なる」と断る。放送を止めようと戦車がラジオ局を取り囲む。武器を持たない市民たちがラジオ局員たちを守ろうと入り口に立ちちはだかった。ついに軍が建物に入り、記者たちは脱出。それでもあきらめず、外部から放送するため、トマーシュは軍事通信室の回路をつなぐと奔走する。

監督は言う「映画のテーマは『困難な時代に、大切な人をどう守るか』ということだ」と。トマーシュは、現実を見極めながら、報道を、そして、社会全体を健全なものに育てることに自らの人生を捧げていく。2026年、日本の報道はどうだろうか。(笹ヶ瀬)